



～市民と響き合う議会～

八王子市議会だより

令和8年(2026年)
第2回定例会

No.283

令和8年(2026年)
8月1日発行

補正予算等の議案を審議

クマ出没による**獣害防止対策経費**などを可決



「高尾山のふもとで見つけたワクワク」
(高尾599ミュージアム)

今号は、大塚在住の **まつい あやか** 松井 彩華 さんの作品です。

 **高尾599ミュージアム**

標高599メートルの高尾山の麓にある、山と自然をテーマにした展示・交流・休憩施設。高尾山の自然をダイナミックに表現した映像スペースや、四季折々の美しい植物や昆虫を展示するスペースのほか、登山のルートやマナー等を映像で紹介する情報ガイドなど、施設全体に高尾山の魅力を詰め込んでいます。

令和8年 第2回 定例会

本会議

市長提出議案18件を可決

8年 第2回定例会は、6月8日に開会し、本会議において市長提出議案18件、議員提出議案3件を可決、1件を継続審議としたほか、請願2件を不採択としました。
可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した議案は次のとおりです。

議案等の審議結果及び固定資産評価審査委員会委員の氏名は4ページへ

付託を省略した主な議案

- 市税賦課徴収条例の一部改正の専決処分
- 都市計画税条例の一部改正の専決処分
- 国民健康保険条例の一部改正の専決処分
- 固定資産評価審査委員会委員の選任

議員提出議案

議員提出議案は、意見書3

件を審議し、可決しました。
可決した意見書は、議長名で政府等に送付しました。

可決した意見書

■皇室の安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書

皇室は、我が国固有の歴史と伝統の象徴であり、皇位が連綿として継承されてきたことは、我が国の根幹である。

現在、皇位継承資格を有する皇族方は少数であり、安定的皇位継承の確保は喫緊の国家的事案である。

よって、今特別国会における皇室典範改正の実現を強く要望するもの。

■殺傷能力のある武器輸出の禁止を求める意見書

日本は長年、平和憲法の下、武器輸出禁止を国是としていた。その後、限定的に武器の輸出を解禁し、さらに4月には殺傷・破壊能力のある武器を含む完成品の輸出を原則として可能にする閣議決定を行った。

この決定は平和国家の根幹

を揺るがし、戦争の当事国になる危険性も増加しかねない。よって、今回の閣議決定を撤回し、殺傷能力を持つ武器輸出の禁止を求めるもの。

■一部保険外療養の創設を行わず適切な保険診療の維持を求める意見書

5月の健康保険法改正により、これまで保険給付の対象であった医療の一部を患者負担へ転嫁し、3割以上の自己負担を求める一部保険外療養制度が創設された。

医療は、国民の生命と健康を守るための社会的基盤であり、所得によって受けられる医療に格差が生じることは避けなければならない。

よって、一部保険外療養の創設を行わず、必要な医療については、保険診療での適切な給付を強く求めるもの。

請願

提出された請願2件のうち、1件は文教経済委員会へ付託し、1件は厚生委員会へ付託しました。審査を行った後、本会議で不採択としました。

不採択とした請願

○1校専任・専門の学校司書

の常駐をめざし、学校司書増員を求める請願
○国民健康保険税の引き下げを求める請願

■主な内容等は3ページ「文教経済委員会」「厚生委員会」へ

委員会

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案11件、議員提出議案1件及び請願2件は、各委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 6月16日

■市税賦課徴収条例の一部改正

8年度税制改正による法令等の改正に伴う改正

問

本改正により、ペロプスカイト太陽電池※を使用した一定の発電設備に対して、固定資産税の課税標準の特例措置における特例割合を、3分の1とするとのことである。それにより、どのような効果を見込んでいるのか。

答

従来のシリコン太陽電池と比べ、導入時のコストが高額であるペロプスカイト太陽電池の設置促進のため、固定資産税の軽減を図るものである。これにより、再生可能エネルギーの導入を促進する効果があると考えている。

結果

可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日 6月16日

■一般会計補正予算(第1号)

クマ等の出沒に対応するため獣害防止対策経費を計上

問

今回クマが出沒した地域の市立小・中学校と、その周辺の町会・自治会や保育施設等を対象に、クマ撃退スプレー等を配布することである。その地域には、私立学校や企業もあるが、どのように対象を選定したのか。

答

緊急かつ迅速に配布するため、市立の小・中学校等を対象とした。また、配布するエリアについては、専門業者と連携し、クマの出沒・生

※ペロプスカイトという特殊な結晶構造を用いた次世代太陽電池の一種で、薄い・軽い・曲がるなどの特徴がある

息範囲を把握した上で選定しているが、そのほかの地域への配布についても、柔軟に対応したいと考えている。



問 市内にクマ対策プロジェクトチームを設置し、組織横断的に対応することだが、どのように対策を進めていくのか。

答 市民の生命の安全確保を第一に取り組むべきと考えている。市独自のマニュアルを作成し、関係団体等の意見ももらいながら、クマをまちに寄せ付けない対策等についてもまとめていきたい。

問 私立小・中学校給食費等の負担軽減の経費を計上

答 私立小・中学校等に通う児童・生徒の保護者に対し、給食費相当額の一部を補助することだが、本補正で行う理由を聞きたい。

問 物価高騰の中、緊急的支援の早期実施のため、他自治体に先駆けて今回計上した。私立学校であっても、大切な本市の子どもたちへの投資であると考えている。

答 援の早期実施のため、他自治体に先駆けて今回計上した。私立学校であっても、大切な本市の子どもたちへの投資であると考えている。

結果 可決すべきものと決定

◎請願

■1校専任・専門の学校司書の常駐をめざし、学校司書増員を求める請願

子どもの読書環境充実のため、学校司書の増員を

平成28年から学校司書が全校に週1日配置されたが、さらに子どもたちの読書環境を充実させるため、1校専任・専門の学校司書の常駐を目指し、増員を求めるもの。

問 週1日の配置体制では、学校によって学びの格差が生じるのではないか。

答 週1日で行うことには限りがあるため、学校図書館サポーターセンター※が研修や情報共有を行い、学校間の格差解消に取り組んでいる。

問 学校図書館サポーターセンターの取り組みをいかに、学校図書館の教育効果をさらに高めるためにも、学校司書増員が不可欠ではないか。

答 校長会やPTA連合会等から、学校司書増員の要望は聞いていないが、今後、増員の効果について調査・研究していきたいと考えている。

結果 不採択とすべきものと決定

厚生委員会

開催日 6月17日

■一般会計補正予算(第1号)

生活保護費の追加給付を支給する経費を計上

問 最高裁判決を踏まえ、生活保護費の追加給付を支給することである。生活保護世帯は申請不要とのことだが、既に転出した世帯等、申請が必要な方に確実に行き渡るよう、どのように周知を行っているのか。

答 市ホームページでの周知を予定している。また、国がホームページやコールセンターを設置するとしているため、国と連携して広く周知に努めたいと考えている。

問 障害のある人も安心して暮らせる八王子づくり条例の一部改正(議員提出議案)

答 手話は言語と明示しコミュニケーションの権利を保障

問 市民、特に当事者の声をもとに制定した経緯がある本条例について、どのように改正の必要性を感じ、議案提出に至ったのか。



答 (提出議員)手話を言語として条例化することを検討する中、手話施策推進法が制定された。施策推進に向けた本市の根拠を定めるため、議会がスピード感を持って動くことが必要と考えた。

問 議案提出について当事者団体が知らなかったとの話を聞いているがどうか。

答 (提出議員)事前に関係団体との協議等を行ってきたが、議案提出に当たり、丁寧な対応や声を聞くことが欠けていたと認識している。

問 国の法律がある中、本条例を改正しないと本市の施策推進に支障があるのか。

答 (市)手話施策推進法を、現在見直し中の障害者計画に反映することが最適と考えている。同時期に条例改正すれば、施策がより迅速に進む可能性もあるが、当事者の声を聞くことが大事である。

問 本議案を出発点と捉え、当事者を中心とし、本条例のさらなる発展に向けて取り組んでいくのはどうか。

答 当事者を中心とし、本条例のさらなる発展に向けて取り組んでいくのはどうか。

答 (提出議員)議案を提出したことで、議論することができた。今後続く形で結果を生み出せればと考えている。

結果 継続審査

◎請願

■国民健康保険税の引き下げを求める請願

市独自策を講じ、国保税引き下げと均等割の軽減を

国保税の連続引き上げにより、加入者の生活を圧迫している。よって、国に均等割の廃止等を求めるとともに、市独自の均等割軽減措置や国保税引き下げなどを求めるもの。

問 国保運営協議会が改定内容をやや意見があったが、どのような意見があったのか。

答 被保険者への丁寧な説明が必要との意見のほか、保険料率の水準を維持できたことへの評価などがあった。

問 世帯人数に応じて負担が増え、均等割は構造的に問題があるのではないか。

答 財源確保の観点から、均等割自体の廃止を国に求める考えはないが、子どもが多いほど負担が掛かる点を踏まえ、軽減について引き続き国に要望していきたい。

結果 不採択とすべきものと決定

都市環境委員会

開催日 6月17日

■一般会計補正予算(第1号)

ごみ指定収集袋の必要数量確保に要する経費を増額

問

中東情勢の緊迫化に伴い、ごみ指定収集袋の製造コストが大幅に上昇していることを受け、今後の必要数量を確保するため、収集袋購入費の増額補正を行うとのことである。金額がかなり大きいと感じるが、本補正を契機として、収集袋を値上げするなど、市民の負担増につながることはないようにしてもらいたいかどうか。

答

現時点では、市民負担を増やすことは想定していないが、社会情勢は日々変化しており、今後の動向を見据えた対応が必要である。市民負担を議論する段階となった場合は、市民への説明や環境審議会への諮問など、多くの市民の理解を得られるよう、進める必要があると考えている。結果 可決すべきものと決定



令和8年(2026年) 第2回定例会 議案等の審議結果一覧			会派の賛否 ※1 議長を除く					結 果	
			自民党	公明党	共産党	立憲民	諸 派		
議員提出議案 4件			付託 委員会	11人	※1 9人	5人	5人	7人	
※2 条 例	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の一部改正	厚	継 続 審 査						
※2 意見書	皇室の安定的皇位継承を確保するための法整備の早期実現を求める意見書	—	○	○	×	×4退1	○3×4	可 決	
	殺傷能力のある武器輸出の禁止を求める意見書		×	○	○	○	○4×3		
	一部保険外療養の創設を行わず適切な保険診療の維持を求める意見書		×	○	○	○	○2×5		
市長提出議案 18件			付託 委員会	自民党	公明党	共産党	立憲民	諸 派	結 果
※4 専決 処分	市税賦課徴収条例の一部改正の専決処分	—	○	○	○	○	○	承 認	
	都市計画税条例の一部改正の専決処分		○	○	×	○	○5×2		
	国民健康保険条例の一部改正の専決処分		○	○	×	○	○5×2		
※4 人 事	固定資産評価審査委員会委員の選任（若槻周平氏） わかづしゅうへい	—	○	○	○	○	○	同 意	
※3 8年度 補正 予算	一般会計補正予算（第1号）	全	退	○	○	○	○3×4	可 決	
	借入金管理特別会計補正予算（第1号）	総	○	○	○	○	○		
	給与及び公共料金特別会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○		
	一般会計補正予算（第2号）	総・文・厚	○	○	○	○	○6×1		
※4 条 例	市長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正	—	○	○	○	○	○	可 決	
	昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除等に関する条例の一部改正								
	下水道事業の設置等に関する条例の一部改正								
	市税賦課徴収条例の一部改正	総	厚	○	○	×	○		○
	乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正								
	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正								
	家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正								
	認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準に関する条例の一部改正								
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営の基準に関する条例の一部改正									
※4 その他	市道路線の認定及び廃止	都	○	○	○	○	○	可 決	
請 願 2件			付託 委員会	自民党	公明党	共産党	立憲民	諸 派	結 果
※2 請 願	国民健康保険税の引き下げを求める請願	厚	×	×	○	×	○2×5	不採択	
	1校専任・専門の学校司書の常駐をめざし、学校司書増員を求める請願	文	×	×	○	×	○2×5	不採択	

○：賛成 ×：反対 退：採決時に退席

<会派名>

自民党：自民党新政会
公明党：八王子市議会公明党
共産党：日本共産党八王子市議会議員団
立憲民：立憲民主・市民の会
諸 派：会派に所属しない議員

<付託委員会>

総：総務企画委員会 文：文教経済委員会 厚：厚生委員会
都：都市環境委員会 全：4常任委員会(総・文・厚・都)
—：付託せず

議員提出議案・請願



※2 条例・意見書・請願

市長提出議案



※3 8年度6月補正予算



※4 議案の概要(条例等の内容)

市政の



現状は 課題は 今後は

聞きました

一般質問

6月8日から4日間にわたり29人の議員が市政について一般質問を行いました。質問の中から関連した内容を取りまとめ、その要旨を掲載しています。

なお、議員ごとの質問の様子は、市議会ホームページで録画配信をご覧ください。



DX推進

デジタル地域通貨

桑都ペイの取り組みは

問 市は、桑都ペイ事業の検証期間を6年度から8年度までの3年間とし、効果を検証することである。今年度は最終年度となるが、本事業をどのように評価しているのか。

答 桑都ペイは、市内の加盟店で利用される仕組みのため、市内消費の喚起に寄与したほか、ポイント付与により、イベント参加促進などに一定の効果があったと考えている。一方で、その効果が一過性にとどまり、日常的な利用の定着に至っていないことが課題と認識している。

問 ポイントの付与だけでは利便性が低いと考える。市の政策目的に沿った行動を促す政策ツールとして活用するためには、いつでも入金できるチャージ機能が必要ではないか。

答 ポイントの付与だけでは利便性が低いと考える。市の政策目的に沿った行動を促す政策ツールとして活用するためには、いつでも入金できるチャージ機能が必要ではないか。

問 日常的な利用の定着を図る観点から、入金手段の確保は重要と認識している。今年度は、コンビニエンスストアのATMを活用したチャージ機能を試行的に導入し、検証を行いたいと考えている。



答 日常的な利用の定着を図る観点から、入金手段の確保は重要と認識している。今年度は、コンビニエンスストアのATMを活用したチャージ機能を試行的に導入し、検証を行いたいと考えている。

問 市内の大学が、自ら原資を出して桑都ペイのポイントを購入し、付与している事例があると聞いている。地域団体等が行うさまざまな取り組みの中で、自発的に参加者へのポイントを付与してもらえるような動機付けが必要と考えるがどうか。

答 持続可能性の観点から、地域団体等による自発的なポイント付与は大変重要と考えている。桑都ペイの目的や機能に加え、検証データを活用し、ポイント付与が参加者の増加につながるといった効果を、町会・自治会や大学等に丁寧の説明していく。

問 桑都ペイ事業をさらに発展させながら、本市のまち

答 桑都ペイ事業をさらに発展させながら、本市のまち



詳しくは、桑都ペイの専用サイトへ

の活性化に積極的に取り組んでもらいたいと考えるが、今後の方向性は。

答 今後、チャージ機能の導入により利用可能店舗が拡大し、市民の日常生活へ浸透することで、本事業の目的である、地域コミュニティや地域経済の活性化について、今年度中に結果を示せるように取り組んでいく。

問 8年度から市の業務において検索拡張生成AI※を導入するが、その目的は。

答 職員の情報検索や文書作成等を支援することで、AIを適切に活用し、業務の生産性向上と市民サービスの質の向上を図ることを目的としている。

問 DX推進計画では、「文書生成AIを業務で利用している職員の割合」を9年度に60%を目指すとしている。全国平均30%に比べ、高い目標を掲げているが、どのように取り組むのか。

答 大学等と連携して研修を実施することで、AIを活用できる人材の育成に取り組むとともに、職員が日常的にAIを活用できる環境整備を

問 近年、暑熱環境下における屋外作業時の熱中症リスクが高まる中、国の労働安全衛生規則が改正され、事業者が熱中症対策が義務化された。本市においても、職員を熱中症から守る夏季作業環境管理ガイドラインを6月に改定したが、どのように運用しているのか。

安全衛生

進めることで、組織全体への定着を図っていく。

職場の熱中症対策は

問 近年、暑熱環境下における屋外作業時の熱中症リスクが高まる中、国の労働安全衛生規則が改正され、事業者が熱中症対策が義務化された。本市においても、職員を熱中症から守る夏季作業環境管理ガイドラインを6月に改定したが、どのように運用しているのか。



答 熱中症対策の強化と予防の徹底が図れるよう、同ガイドラインの全庁的な周知に努めている。運用については、各課において、暑さ指数に応じた業務基準の設定や、非常時における報告・連絡体制の整備、熱中症予防のための休憩、水分補給などの具体的な対策を定め、着実に実施している。

※生成AIに検索機能を組み合わせ、社内データ等を参照しながら回答を生成する技術・仕組み

一般質問は

質問方法

次の3通りから議員が選択します。

- ①一括質問方式(演壇で行い、3回まで可能)
- ②一問一答方式(発言席で行い、回数制限なし)
- ③1回目は演壇で一括質問、
2回目以降は発言席で一問一答方式



議長席前の演壇で行う一般質問のようす(一括質問方式)

すべての子どもが
共に学べる環境を

学校教育

問

障害の有無にかかわらず、誰もが支障なく学校生活を送れる環境を整備するため、学校施設のバリアフリー化を計画的に進めるべきと考えますが、市の見解は。

答

老朽化対策や安全確保を優先した改修を進める中で、バリアフリー化を順次実施してきた。今後は学校再編との整合性を図りながら、地域や学校の実情に応じて取り組んでいく。



問

すべての子どもが希望する地域の学校で共に学べる環境を整備することは、教育行政の重要な責務ではないか。

答

教育的ニーズに応じた学びの保障は重要であり、これまで多様性を受け入れ共に学ぶ教育活動に取り組んできた。より良い教育の実現には、ソフト面の充実が不可欠なことから、今後も、共生社会の

基盤づくりを目指した学習内容・方法の実現に努めていく。
現代社会に対応した
教育の充実

問

小中一貫教育において、英語学習を切れ目なくつなぐ取り組みについて聞きたい。

答

小中9年間を見通し、小学校での言語活動中心の学習から、中学校の授業へ円滑につながるよう、指導内容や学習課程の連続性を意識した授業づくりなどを進めている。

問

小・中学生が、金銭に関する犯罪に巻き込まれないようにすることが必要と考えるが、市の取り組みは。

答

SNS等を通じた犯罪の未然防止の観点から、5年生以上の児童・生徒を対象に、学習用端末で闇バイトクイズを実施している。不適切な情報を見分ける判断力の育成とともに、犯罪被害防止に向けた意識の醸成に努めている。

問

子どもたちがインターネット等に触れる時間の多くが家庭であることを踏まえ、保護者がメディアリテラシー※への理解を深められるような啓発に取り組めないか。

答

学校と家庭が共通理解のもとで取り組むことが重要と認識しており、保護者も参

加可能な講座や学校だよりなど、家庭でのルールづくりに関する情報提供等を行っている。今後は、情報の受け止め方や活用のあり方について、理解を深める取り組みを進めるとともに、家庭への継続的な啓発等に努めていく。

生涯学習スポーツ

子どものスポーツ環境の
充実に向けて

問

中学校の部活動改革で地域移行を進める中で、地域のスポーツ団体等の情報をどのように発信しているのか。

答

地域団体の活動情報一覧や活動場所を掲載したマップを作成し、八王子市教育情報プラットフォーム(ハプラ)などで発信するとともに、生徒へのチラシ配布やイベント等を通じて、多様な体験機会の情報提供を行っている。

問

学校と地域の連携・協力をさらに充実させ、地域でスポーツを楽しめる環境を整えてもらいたいと思うか。

答

学校と地域等が連携し、部活動の地域移行を活用するとともに、子どもたちが安全に安心して遊べる場所を確

ボール遊びができる
環境への取り組み

問

子どもの運動機会の確保等には、ボール遊びができる環境が大切と考える。身近にボール遊びができる公園がない地域解消への市の考えは。

答

設備等が整ったボール遊びができる公園は、市ホームページで公開しているほか、設備等が十分ではない公園も、周辺環境や利用状況に応じて柔軟に運用している。さまざまな課題等を踏まえ、ボール遊びができる公園が不足している地域を含め、導入可能な公園から段階的に取り組みを進めていきたいと考えている。



ルールを守り、身近な公園でボール遊びができる環境を整備

※インターネット・テレビ・新聞等の情報が流通する媒体(メディア)の特性や利用方法を理解し、適切な手段で自分の考えを他者に伝達し、メディアの情報を取捨選択して活用する能力

本市議会の



質問内容 (議案の内容以外の質問に限ります)
本市の行政全般にかかわる事務の執行状況や将来の方針等への疑問や提案などです。

質問時間
答弁を含め、一人当たり60分以内です。

高齢者

今後の高齢者施策は

問 9年度からの次期計画である高齢者計画・第10期介護保険事業計画は、どのように策定を進めているのか。

答 市民アンケート等で把握した実態やニーズをもとに、学識経験者や福祉関係者等で構成する専門分科会の意見を踏まえ、策定している。

問 次期計画の策定に当たり、どのようなことが課題と認識しているのか。

答 市民アンケートの結果から、認知症施策の推進や、地域における相談体制の充実が重要な課題と認識している。介護サービスの質と量を保つため、介護人材確保の支援の充実が必要ではないか。



市内の介護・障害福祉事業所、医療機関が出展し、開催した就職相談会

答 これまで、就職相談会や資格取得支援のほか、外国人介護人材を対象とした日本語研修等、本市独自の取り組みを行ってきた。次期計画でも、取り組みを継続するとともに、介護DX推進による生産性向上も含め、総合的に介護人材施策を推進していく。

終活支援への

さらなる取り組みを

問 単身の高齢者が増え、自身の死後の手続きや葬儀等、いわゆる終活への不安を抱える市民が増加したと考える。終活支援の取り組み状況は。



答 成年後見・あんしんサポートセンター八王子※が、権利擁護の観点から、死後の手続き等を含めた相談に対応するほか、高齢者あんしん相談センターがエンディングノート等の紹介等を行っている。

問 緊急連絡先や葬儀の希望等、生前に本人の意思を市が把握し、登録しておく仕組みが必要ではないか。

答 登録制度を既に実施している自治体があることは把握しており、情報収集等を行

っている。終活支援事業全体を考える中で、本制度導入の検討を進めていく。

子ども・若者

子ども・若者支援の

充実に向けて

問 子どもの居場所づくり等の支援として、都が始める「子供食堂等居場所支援事業」の活用について聞きたい。

答 従来の「子供食堂推進事業」と「子供の居場所創設事業」を再編した新たな制度であるが、まだ詳細は示されていないため、今後、本市の子ども食堂や居場所支援の状況等を踏まえ、活用の可能性を検討していく。

問 子ども・若者には、自分たちの居場所は自分たちで作れるという考えを持ってもらいたい。市には、子ども・若者自らの発案・実践が当たり前となるまちを目指し、施



策に取り組んでもらいたいかどうか。

答 子ども・若者の意見を尊重したまちづくりに関する庁内研修を7年度に実施した。引き続き、子ども・若者の発案・実践の機会の重要性を啓発し、子ども・若者の意見を尊重した施策の実施に向け、取り組んでいく。

医療費助成の

負担金廃止を

問 小学生から高校生世代への本市の医療費助成制度では、通院1回につき一部負担金を200円としている。負担金を廃止する自治体も増えており、子どもたちの健康を守る観点からも、本市も負担金を廃止できないか。



答 不確実性が高まっている社会経済情勢の激しい変化を踏まえ、負担金廃止に向け、検討する必要があると考えている。子どもたちが安心して必要な医療を受けられる環境整備を行い、健やかな育成と保健の向上を図っていく。

●正副議長と議会運営委員長は、慣例で、一般質問を行わないこととしています



←質問者の発言の
題目はこちら

一 般 質 問 を 行 っ た 議 員 で す (発 言 順)

6月11日	6月10日	6月9日	6月8日
星野直美	鈴木月平	立川安之	長谷川順子
小島翔平	望月翔平	川村奈緒美	森川克彦
山本貴志	西室由香	金子垂希	森重喜正
古里幸太郎	浜野正太	岸田功典	村松宏和
富永純志	綿林ともみ	久保博美	石井彩加
日下部広志	九鬼夕々	久保博美	玉石正宏

桑都の杜^{そうとのもり}への移動の手段は

交通

問 10月に開設する桑都の杜^{※1}へのアクセスにおいて、八王子駅南口周辺道路は高低差があるなど、来場者が移動する際の負担が懸念される。利便性向上に向けた自動運転バスの検討状況を聞きたい。

答 先端技術を有する市内の大学と連携し、八王子駅南口と桑都の杜を結ぶ道路において、スクールバスを活用した定員13人の自動運転バスの実証運行を予定している。



写真提供：東京工科大学

桑都の杜への移動手段として自動運転バスを活用（イメージ）

問 大型イベント開催時など、定員13人のバスだけでは混雑に対応できない場合も想定されるが、市の考えは。

答 多くの来場者が見込まれるイベント開催時は、交通事業者とバスの増便について協議するとともに、イベント運営者とも連携を図り、適切な交通対策を講じることで、来場しやすい環境の確保に努めていく。

はちバス再編の取り組みは

問 はちバスのルートを再編し、10月から実証運行を実施することである。現在の4ルートでの運行を終了し、10ルートに拡大する一方で、運行日を週3日に変更する理由とは。



答 高齢者や交通弱者の日常的な移動手段確保の観点から、地域の実情や財政状況を踏まえ、運行のあり方について検討を行ってきた。その結果、運転手不足をはじめ、社会環境の変化にも適切に対応し、将来にわたり持続可能な運行を確保するため、週3日の運行とした。

問 運行の確保や運転手不足に対応するためには、これまで以上に予算の確保が必要

と考えるがどうか。

答 はちバスは、市民にとって重要なインフラであると認識している。3年間の実証運行の状況を踏まえ、利用者や運行事業者等からの意見を総合的に判断した上で予算編成を行い、はちバス事業を展開していく。

環境

水辺のまちづくりの取り組みは

問 4年度から実施している八王子水辺活動チャレンジ「ミズカツ」の取り組みについて聞きたい。

答 地域住民や事業者との協働により、市内の豊かな水辺の魅力をいかし、新たな憩いとにぎわいの場を提供する持続可能な水辺のまちづくりの実証実験を進めてきた。市内3カ所の水辺で行った実証実験の結果を踏まえ、6年度からは実施場所を南浅川地域に絞り、取り組んでいる。

問 「ミズカツ」を通じて、住民の理解等も進んでいると考えるが、現在の状況は。

答 南浅川地域では、地域住民や事業者等が自立的に水



水辺を憩いとにぎわいの場として提供する「ミズカツ」の取り組み

辺活用を行う陵南水辺活用協議会を設立した。水辺を地域のまちづくりの活性化に寄与する空間として提供することで、恒常的なにぎわい創出を実現できると考えている。

地下水調査の積極的な対応を

問 7年度に市内の20ブロックで実施した地下水調査の結果では、一つのブロック内の井戸において、PF₅OS・PF₆OA^{※2}濃度が、国の指針値を超過したとのことだが、今後どのような調査を行っていくのか。

答 国の指針値を超過した井戸については、年1回の継続モニタリングを実施する。また、引き続き20ブロックでの調査も継続することにより、地下水の水質情報を収集していく。

※1公園・ライブラリ・ミュージアム・交流スペースが一体となった複合機能施設の愛称

※2P F A S（ピーファス）と総称される有機フッ素化合物の一種で、自然界で分解しにくく、水などに蓄積することがわかっている

市議会からのお知らせ

■会派代表者の変更

5月25日付で「日本共産党八王子市議会議員団」の代表者が望月翔平議員になりました。

会派名簿はこちら↓



■議会運営委員の変更

5月25日付で望月翔平議員から、委員の辞任願が提出され、同日付で石井宏和議員を新委員に選任しました。

各種名簿はこちら↓



議場の傍聴席には、質疑や答弁の発言内容を字幕で表示するモニターも設置

■市議会を傍聴してみませんか
市議会は公開しており、誰でも定員の範囲内で傍聴できます。本会議の傍聴をご希望の方は、会議当日、市役所3階議

会事務局議事課で申込書に住所・氏名を記入し、傍聴券を受け取って傍聴席にお入りください。また、各委員会も傍聴できます。会議日程や議事内容など詳しくは、議事課へお問い合わせください。皆さまの傍聴をお待ちしています。

傍聴の案内はこちら↓



■詳しくは会議録で

本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」は、市政資料室や各市立図書館などで閲覧できます。

また、市議会ホームページには、検索機能付きの会議録を掲載しています。

なお、8年第2回定例会の本会議の会議録は、8月中旬に完成予定です。

会議録はこちら↓



■会議の様子はホームページで

本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議の様子ははこちら↓



教えて！市議会？
～議会運営委員会編～
千人くん ま～姫

議会運営委員会って、何のためにあるの？

円滑な議会運営ができるよう話し合い、調整などをするために、設置されているよ

どんなことを話し合っているの？

議会の会議日程や進め方などについて、話し合っているよ
議場の秩序に関することや、市議会だより「ひびき」の編集も担当しているよ

10月31日まで夏季軽装期間

省エネルギー対策を実施中



皆さまのご理解をお願いいたします。

市議会では、10月31日まで夏季の省エネルギー対策のため冷房を28℃にし、議員や職員がネクタイを着用せず軽装で会議等に出席しています。

アンケート実施中

掲載内容についてご意見を



アンケートはこちら⇒



掲載内容についてお気づきの点がございましたら、庶務調査課へお寄せください。今後の市議会だより編集にいかすため、毎号「ひびき」アンケートを実施しています。皆さまのご協力をお願いいたします。

レポート

八王子市議会の所管事務調査とは、常任委員会
が主体的にテーマを設定し、政策提案や提言を目
指して、調査・研究する活動です。



報調…所管事務調査の活動
…市からの報告に対する質問など

厚生委員会

所管事務調査テーマ

青年期・成人期における発達障害に係る就労支援と家族支援
について

行政視察 5/13～5/15

京都市、岡山市、エフピコダックス株式会社(福山市)、
広島市

視察の主なポイント

- ・ 障害者の就労定着支援に関する取り組み
- ・ 発達障害者支援体制づくり推進プログラム策定による
総合的・計画的な支援



5/14 行政視察
(岡山市)

その他の活動

4/21 懇談会「青年期・成人期における発達障害に係る家族支援の実施状況について」
(特定非営利活動法人かたつむり)・「青年期・成人期における発達障害に係る
就労支援及び家族支援の実施状況について」(ダンウェイ株式会社)

5/27 行政視察の振り返り、提言の取りまとめの方向性

6/17 提言等の方向性の協議

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒



都市環境委員会

所管事務調査テーマ

グリーンインフラの推進とその資金調達方法について

行政視察 5/13～5/15

長野県、犬山市、いなべ市

視察の主なポイント

- ・ グリーンインフラ推進に向けた取り組み
- ・ 自然資源の活用方法



5/13 行政視察
(長野県)

その他の活動

4/23 研修会「グリーンインフラに係る現状と取組状況について」
(グリーンインフラ官民連携プラットフォーム運営委員)

5/27 行政視察の振り返り、今後の調査の方向性

6/17 「桑都の杜」の開設及び自動運転バスの実証運行

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら⇒





市議会では議案審議や一般質問以外にも、さまざまな活動を行っています。ここでは、常任委員会の所管事務調査活動など、主な活動をお知らせします。

議会活動

総務企画委員会

所管事務調査テーマ

地域の安全・安心の確保に向けた地域防災力のさらなる向上

行政視察 5/12～5/14

仙台市、石巻市防災センター(石巻市)、
山形市市民防災センター(山形市)

視察の主なポイント

- ・ 地域防災力向上や住民の防災意識の醸成に向けた取り組み
- ・ 大規模災害の教訓を踏まえた防災・減災の取り組み



5/14 行政視察
(山形市市民防災センター)

その他の活動

5/26 行政視察の振り返り

地方税法等の改正に伴う市税賦課徴収条例及び都市計画税条例の一部改正
ほか1件

6/16 提言等の方向性の協議

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら→



文教経済委員会

所管事務調査テーマ

歴史と文化、日本遺産を生かした地域振興

行政視察 5/12～5/14

倉敷市、児島商工会議所(倉敷市)、尾道市、草津市

視察の主なポイント

- ・ 地域資源を生かした地域ブランディング※
- ・ 地域の歴史・文化・環境を学習資源として活用した取り組み



5/13 行政視察
(尾道市)

その他の活動

5/26 行政視察の振り返り、今後の調査の方向性

熊問題の経緯と対策 ほか1件

6/16 提言等の方向性の協議

視察報告書など所管事務
調査の取り組みはこちら→



※地域が持つ歴史や文化、自然などの資源を活用し、その地域特有の価値を明確にして発信する取り組み

次回の定例会の主な予定

《令和8年(2026年) 第3回定例会》

日	月	火	水	木	金	土
		8/25	26	27	28	29
		招集告示日		議会運営		
30	31	9/1 開会日 議場コンサート 議会運営	2	3	4	5
			本会議(ネット) (一般質問)			
6	7	8 議会運営 本会議(ネット) 決算(ネット)	9 総務企画 文教経済	10 厚生 都市環境	11	12
13	14	15	16 議会運営	17	18 本会議(ネット) (委員会審査 報告・採決等)	19
20	21 敬老の日	22 国民の休日	23 秋分の日	24 本会議(ネット) 決算 (代表質疑等)	25 決算(ネット) (総括質疑)	26
27	28 総務企画 文教経済	29 厚生 都市環境	30	10/1	2	3
4	5 決算(ネット) 議会運営	6	7 最終日 本会議(ネット) (決算採決等)	会議の予定は こちら⇒ 		

- 会議(議会運営を除く)は、10時から開会します
- 定例会の開会中以外にも、会議を開催しています
- 問い合わせ：議事課

- ◎：委員会
- ◎：決算等審査特別委員会
- ◎：分科会
- 〔ネット〕：市議会ホームページで中継

傍聴者からの声



議会傍聴で広がる学びを
もっと多くの人に！

まつおか まさこ 松岡 正子さん 議会への興味から夫婦で傍聴に訪れるようになり、今回で3回目となりました。議場でのコンサートは初めてで、音の響きが素晴らしく、とても新鮮に感じました。

一般質問では、知らなかった施設の存在や、行政の現状・課題・計画等を知ることができ、学びの多い時間でした。職員の答弁が早口で聞き取りにくい場面もありましたが、傍聴席のモニターに表示される字幕のおかげで、内容を理解することができました。

今後も傍聴に来るつもりですが、より多くの方が傍聴することで、議会がさらに盛り上がるのではないかと思います。

本会議前に心温まる演奏を
次回の議場コンサート

- 日時** 9月1日(火)の本会議前
午前9時30分～9時50分
- 受付** 市役所3階 議事課
(午前9時から受付開始)



前回の出演 6月8日
鍵水、竹と歌の仲間達
(尺八/ボーカル/ボーカル・ギター・ピアノ)

出演者募集中！

定例会の初日に
出演できる方を募集しています

- 対象** 市内在住・在勤・在学の個人
や団体
- 内容** 歌唱や楽器の演奏

募集情報はこちら⇒



問い合わせ：庶務調査課



表紙写真募集！

あなたの1枚を「ひびき」の表紙に

募集内容 市内の行事・風景・まちなみなど**秋・初冬**をイメージした写真

- ◆写真の縦・横は問いません
- ◆できるだけ撮影場所がわかる写真をお願いします
- ◆掲載は11月15日発行の284号です

締切 10月9日(金)◀ 令和7年11月15日号
の表紙

応募要領はこちら⇒



問い合わせ：庶務調査課

